

フットサルとサッカーの強豪国の関係性

Relationship of top teams between Soccer and Futsal

1K05A096

指導教員 主査 寒川恒夫先生

榊原 英明

副査 杉山千鶴先生

【序章】

私は本学在学中に、地元のフットサルチームでプレーヤーとして活動してきた。このチームは、レクリエーションレベルのスポーツとしてフットサルを行っているチームではなく、財団法人日本サッカー協会下にある東京都フットサル連盟が主催する東京都フットサルリーグ・1部リーグに所属する、いわゆる競技志向のチームである。私はフットサルに出会うまではサッカーを競技として行ってきた。そんな私は大学でもサッカーを続けるか迷っていたとき、フットサルと出会い競技を始めた。このようにフットサルを競技で行なっている多くの人たちは、サッカーからフットサルへ移行したケースが多い。このような事柄から、フットサルの上手さは、サッカーの実力と関係あるのかについて考えるようになった。またその結果を踏まえて、フットサルの強さを決める要因を検証し、今後の日本フットサルのレベル向上を目的とした。

【第1章 基礎知識】

第1章では、フットサルの基礎知識について考察する。ここではフットサルのルールや、フットサルがどういった競技かをサッカーとの比較をしながら、考察していく。また、フットサルのポジション名や、基礎となるフォーメーションについて触れる。

【第2章 歴史】

第2章では、サッカーとフットサルの歴史を述べ、その関係性について考察する。また、日

本のフットサルの歴史にも触れ、日本のフットサルの現状を学ぶ。

【第3章 世界のフットサル】

第3章では、世界各国のフットサルについて触れる。ブラジルやスペインなどのフットサル強豪国と日本のフットサルとの比較を行なう。

【第4章 フットサルの街・府中】

第4章では、府中市のフットサルについて述べる。府中は、全国でも有名なチームや選手がたくさんおり、サッカーでは無名の小さな町に、フットサルの何があるのか、その要因について考察する。

【第5章 フットサルワールドカップの歴史】

第5章では、1989年にオランダで行なわれた第1回フットサル選手権から、2008年にブラジルで行なわれた FIFA フットサルワールドカップの開催国や出場国などを踏まえて歴史を辿っていく。

【第6章 世界大会の歴史と優勝国】

第6章では、フットサルワールドカップや、AFC フットサル選手権、サッカーワールドカップ歴代優勝国、FIFA サッカー世界ランキングと国別サッカーワールドカップ優勝回数を表にして、まとめた。

【考察・結論】

今後日本のフットサルが強くなるためには、

どうしたらいいのかを考察する。まず過去のフットサルワールドカップやAFC フットサル選手権、サッカーワールドカップ、そして最新のFIFA ランキングなどを参考に、「サッカーが強くフットサルも強い国」、「サッカーは強いがフットサルは弱い国」、「サッカーは弱いがフットサルは強い国や地域」といった3パターンに分けた。そこで、それぞれフットサルはなぜ強いのか、なぜ弱いのかを考察する。考察した結果、いかにフットサルの文化が国に浸透しているかが、強豪国であるか、そうでないかを分けるという結論に至った。

【日本フットサルの今後の課題】

日本が今後フットサルで強くなるにはどのような課題があるかを考察。まだまだマイナースポーツであるフットサルを、いち早く国民的スポーツにし、競技者数を増やすと同時に、施設や下部組織といった、先を見据えた地道な普及活動が必要だ。